

事務事業名		道路橋梁総務管理事業		所属部	建設部	所属課	業務管理課
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進		所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人
	施策名	(40)財政の健全化		担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061
	目的:対象	市の財政	意図	健全に運営する。		(内線)	3732
	基本事業名	(121)効率・効果的な財産管理運用		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	道路橋梁総務管理事業	
目的:対象	基金、財産	意図	効率・効果的な管理運用をする。		項 目 中事業 中事業名	道路橋梁総務管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・管理物件必要経費の支出 ・直営による測量業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
		・管理物件必要経費の支出 ・用地購入(土地開発基金財産引渡要求分) ・直営による測量業務	・管理物件必要経費の支出 ・直営による測量業務			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 支払件数	件	58	90	140	140
	イ 直営測量等に掛かる時間	時間		H25から	1,520	1,500
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	①管理物件 ②測量すべき土地	ア 測量依頼件数	件		H25から	19	10
		イ 購入すべき土地開発基金財産用地	件	0	0	1	0
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①適正に管理する ②測量する	ア 測量相談件数	件		H25から	32	30	
	イ 土地開発基金財産用地購入	件	0	0	1	0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
【報酬】2,400千円、【賃金】1,553千円、 【旅費】200千円、【消耗品費】283千円、 【光熱水費】60千円、【委託料】340千円、 【使用料】62千円、【土地購入費】879千円、 【その他】105千円	事業費	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	843	920	5,882
	事業費計 (A)	千円	843	920	5,882	5,540
人件費	正規職員従事人数	人	7	8	7	
	延べ業務時間	時間	40	40	225	
	人件費計 (B)	千円	158	157	876	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,001	1,077	6,758	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・測量を伴う登記申請は、残地測量や添付書類の変更等によって、1件当たりの業務時間が増となっている。	・平成25年度から測量に関わる予算を管財課から測量業務の多い建設部へ移管した。	・特になし

事務事業名	道路橋梁総務管理事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理物件の必要経費であり成果の向上余地はない。</li> <li>・直営による測量は、緊急性や必要性の高いものとしており、成果の向上余地はない。</li> </ul>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理物件を廃止することはできない。</li> <li>・緊急性や必要性の高い測量が出来なくなり、事業の進捗が大幅に遅れる。</li> <li>・測量に伴う登記業務は、土地の権利関係を法的に担保するものであり、統廃合休止はありえない。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		・他の事業を総合的に補助するものであり、統廃合・連携するものでない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要最低限度の経費であり、事業費の削減余地はない。</li> <li>・平成25年度より管財課から予算移管された測量に関する嘱託職員を1名採用して実施した。これ以上の嘱託職員の減員は不可能である。</li> </ul>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	・既に嘱託職員や臨時職員を雇用しているため、人件費の削減余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理物件の必要経費であり公平である。受益者負担はない。</li> <li>・市にとって必要な測量である。</li> </ul>
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理物件を廃止することはできない。</li> <li>・緊急性や必要性の高い測量が出来なくなる。</li> <li>・事業の進捗が大幅に遅れないようにすることが可能であり、最大の効果がある。</li> </ul>		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理物件を廃止することはできないため、管理が必要である。</li> <li>・緊急性や必要性の高い測量を実施でき、事業の進捗が大幅に遅れないようにすることが可能であり、最大の効果があるため、平成26年度も実施する。</li> <li>・業務の方向性等については、現状で問題ないが、現在、登記業務を嘱託職員が行っている。今後も嘱託職員でこの業務を行う場合は、後継者育成を考えていく必要がある。</li> </ul>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			